

# 平成21年度補正予算(案)の概要について

環境省

1. エコポイントの活用によるグリーン家電の普及事業 109,813 百万円  
エコポイントによる省エネ家電(エアコン、テレビ、冷蔵庫)の買換え促進支援事業
2. 地域グリーンニューディール基金の創設 55,000 百万円  
地域環境保全基金の拡充による地球温暖化対策事業、廃棄物処理対策事業、漂流・漂着ゴミ対策事業等の推進
3. 環境ファイナンスに係る投資の加速化 4,740 百万円
  - (1) 京都議定書目標達成特別支援無利子融資制度の創設 4,500 百万円
  - (2) 金融機関による「環境格付」のための企業調査・審査に対する補助制度の創設 240 百万円
4. 地方公共団体等の所有する自動車の低公害化の推進 3,500 百万円  
地方公共団体等の所有する塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害車への買換えを促進させるための補助
5. 国の施設のグリーン化等のための施設整備 497 百万円
  - (1) 世界遺産センターのグリーン化等によるCO<sub>2</sub>排出削減 243 百万円
  - (2) 生物多様性保全拠点等のグリーン化等によるCO<sub>2</sub>排出削減 134 百万円
  - (3) 環境調査研修所施設・設備の低炭素化改修 120 百万円
6. 国立公園等施設の低炭素化等の推進(公共事業) 6,570 百万円  
皇居外苑壕の水質浄化能力の向上や、国立公園等の各種施設の安全確保とグリーン化を促進するための施設整備
7. 単独処理浄化槽転換加速モデル事業等(公共事業) 1,003 百万円  
合併浄化槽への切り替えが遅れている単独浄化槽の転換を促進するための施設整備

<b>8 . C O P 1 0 の円滑な開催に向けた関連事業等の推進</b>	<b>1,174 百万円</b>
(1) 生物多様性に配慮した事業活動と地域活性化を促進するための 生物多様性地方総合展示会開催事業	222 百万円
(2) C O P 1 0 に向けた科学的基盤の強化及び持続的利用等に かかる合意形成のための国際会議開催	98 百万円
(3) アジア・オセアニア地域におけるサンゴ礁保全に向けた 情報基盤整備事業	155 百万円
(4) 生物多様性情報整備事業	697 百万円
<b>9 .環境先端技術等の連携及び活用の推進</b>	<b>1,893 百万円</b>
(1) 地域産学官連携環境先端技術普及モデル策定事業	700 百万円
(2) 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき (GOSAT)」による 地球温暖化問題解決に向けた取り組みの推進	1,104 百万円
(3) し尿・浄化槽汚泥からのリン回収・利活用推進モデル事業	90 百万円
<b>10. エネルギーのグリーン化やC O 2 削減に資する調査等の推進</b>	<b>1,292 百万円</b>
(1) 温泉施設における温暖化対策事業	441 百万円
(2) 小水力発電による市民共同発電実現可能性調査	103 百万円
(3) 京都議定書目的達成のための廃棄物部門緊急調査	431 百万円
(4) オフセット・クレジット(J-VER)制度検証等効率化事業	214 百万円
(5) アジア・太平洋地域における「環境モデル都市」 ・「環境モデル島」の構築調査	103 百万円
<b>11 . 安心・安全の確保等のための調査等の推進</b>	<b>1,543 百万円</b>
(1) 小児環境保健研究プロジェクトの推進	977 百万円
(2) 微量P C B混入廃電気機器等の安心・安全で効率的な処理の推進	150 百万円
(3) 単独処理浄化槽を対象とした使用状況実態等緊急調査	303 百万円
(4) 野鳥における鳥インフルエンザ対策の強化	112 百万円

合 計

1 8 7 , 0 2 5 百万円